

宝塚南口駅前 ロータリー公園 10

笹谷 太郎 SASATANI Taro

全ての生命の源である太陽。その太陽の化身とされているカラス。そのカラスを太陽の象徴、火の鳥として、今のこの世界で蔓延しているものから、生命の源とされている太陽の化身の力で吹き飛ばしていきたいと願いを込めイメージした作品です。



武庫川河川敷遊歩道

今年、武庫川河川敷遊歩道を会場に利用する計画で進行していましたが、諸事情により残念ながら中止になり、展示予定アーティストの方には別会場での展示をして頂きます。てん・てん巡回コースとしてお楽しみください。

友金アパート 12

生西悦子 1 Ikunishi Etsuko

「mignonne」 美しさ、華やかさ、可愛らしさ...花には沢山の魅力があります。そして、満開に咲き誇る花は、観る人の心を揺さぶり魅了します。その感動を分かち合える、人と人の心を繋ぐ作品を目指して。

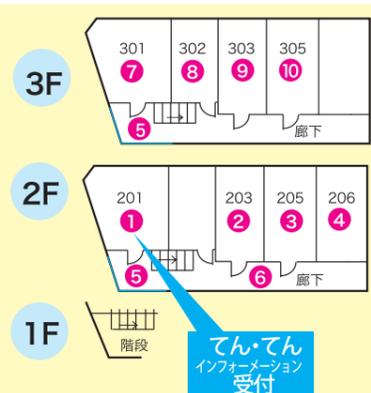


いまふくふみよ 5 IMAFUKU Fumiyo

「帰る時間 光」 2階と3階の廊下に古い窓ガラスがある。今ではあまり見られない凝ったガラスが使われている。そこから差し込む光に、この建物の過ぎ去った時間を感じるようで、ふと、天然染料の色を重ねてみたいと思った。



●最寄り駅/阪急宝塚駅より徒歩約4分



ヤマモト サイケ YAMAMOTO Psyche 2

ああ、友よ！ 君のことを考える度に水に溺れているような感覚になるんだ。ぬりくらしとした私とズレた存在の君がとも憎いけど嫌いなわけではなく、そんな私の友にプレゼントを送らせていただきます。これからもどうぞよろしく！！



小林 くみこ 6 KOBAYASHI Kumiko

「ゆらり・ふわり」 キナ臭い毎日。心がスザンでいきそう。そういう時は心をときはなしてみたくります。ゆらり・ふわりって、そんな「想い」のループを感じてもらいたい。

古山 コスミ 9 KOYAMA Kosumi

「見るもの 見えるもの」 私は見えるものを見つめながら、その本質を知るためにあらゆる角度から見続ける。立ち止まり、うずくまり、そして立ち上がり、それが何であるかが見えてくるまで。



橋本 修一 HASHIMOTO Shuichi 橋本 あやめ 3 HASHIMOTO Ayame

「僕らの回帰大作戦」～漫画モノクロームライブ～ ビートルズ/Revolver、スペシャルズ/farst. B.スプリングスティーン/Born to Run、パティ・スミス/Horses、R.ストーンズ/Sticky Fingers、ラモンズ、ニューヨークドールズ、トレックス。モノクロームがカッコイイ！ 3密避けて、静かに熱狂！ GoToライブキャンペーン。



大野 良平 4 OHNO Ryohi

「川から海へ」 時の流れを川に例えるならば、広大な海は約束された最終地点なのか。記憶の故郷を訪れてみたいと思います。



種中 和義 7 TANENAKA Kazuyoshi

今年はコロナ渦の中ですが友金アパートのインド料理店、チャルテチャルテで本場のインドカレーが今年もまた食べれるのが楽しみです。

伊佐地 恵子 8 ISAJI Keiko

わたしがしている景色を、みんな同じように見ているのだろうか。 [映像出演：藤田彩佳]



【スペース605】 小泉 桂子 10 KOIZUMI Keiko

中村 昌子 NAKAMURA Masako 遊上 陽子 YUKAMI Yoko 毎年アパートで、3人ユニットで、観客参加で作品発表しています。今年も、来年に繋げられるような作品を考えています。ぜひ現場に足を運んでお楽しみください。

会期中 てん・てん スタンプラリー開催

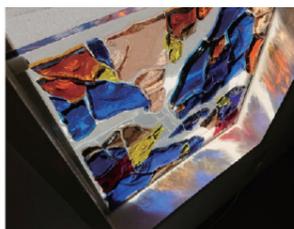
※参加用紙は友金アパート、ソリオテラス、宝塚文化創造館等にがあります。

宝塚現代美術 てん・てん を応援します。<協賛>

無農薬野菜を使ったカレーが自慢 (友金アパート1F) インド料理 チャルテチャルテ 毎月、宝塚から文化情報を発信 タウン誌 ウィズたからづか 個人協賛：日隈孝安

松上 清 MATSUGAMI Kiyoshi

ダルガラスという素材でステンドグラスを製作しております。分厚いガラスで光の乱反射がとてもきれいなステンドグラスです。



樋口 尚 HIGUCHI Takashi

マンホールの蓋は空いたままになっている。もはや雑音に消されて聞こえない音もあたりが静かになるとかすかに音が聞こえる色と形をつくり世界が広がる音はどこから聞こえる。



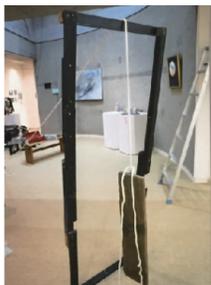
Main event poster for '現代宝塚 Contemporary Art Exhibition TEN-TEN' 2020. Includes title, dates (10/30-11/8), location (Takarazuka Arts Center), and a detailed map of the venue with numbered stops for the stamp rally.

ソリオ1 テラス2・3階 ①

●最寄り駅/阪急宝塚駅より徒歩約3分



上野 秀明 UENO Hideaki
「さんすい」
陽当たりのいい縁側で、水とたわむれたいと思いました。



土師 清治 HAJI Kiyoharu
「遙かな風景」
遠くに何かあるなと思える程度の見え方、何だろな気になる、そんな作品を考えています。



春成 こみち HARUNARI Komichi
ふだん見慣れている散歩道にほわほわした形オブジェを作りました。遠くソリオからも見ることが出来ます。(河川敷遊歩道プランの為のコメント)



松原 三郎 MATSUBARA Saburo
「その時、その場」
その時の吹く風を感じながら作品を発表できたらと考えています。



山下 克彦 YAMASHITA Katsuhiko
「赤い線」
武庫川の左岸から右岸を見るロケーションの、水辺の風景の距離感がとてもステキだったので、右岸の石垣に「赤い線」を一本入れようと思いました。(河川敷遊歩道プランの為のコメント)

ワダ コウゾウ WADA Kozo
「新宝塚温泉」
宝塚に新しい温泉が出ました。宝塚大橋下近く武庫川左岸側河川敷遊歩道に新しい温泉が出来ました。2020年10月30日オープンします。オープン記念10月30日から11月8日まで24時間営業。入浴料無料。

大西 昇子 ONISHI Shoko
ゴミ袋など身近なものがなんか面白いものに変化して、なんやこれと気軽に楽しんでもらえるような作品を考えています。

宝塚自転車駐車場 外壁 ③

●最寄り駅/阪急宝塚駅より徒歩約3分



大塚 卓 OHTSUKA Takashi
端材や廃材を3・4・5...つなぎ形が変わり連なる面白さ。



篠崎 裕子 SHINOZAKI Yuko
自然や宇宙のエネルギーを受けて、アートの形に翻訳し、可視化している感じです。世界は素粒子で満たされているという量子力学的な考え方に触れた時、私の創造の意味が明確になったかも知れません。



樋口 尚 HIGUCHI Takashi
マンホールの蓋は空いたままになっているいつもは雑音に消されて聞こえない音もあたりが静かになるとかすかに音が聞こえる色と形をつくり世界が広がる音はどこから聞こえる。



みず垣 尚 MIZUGAKI Hisashi
「ほど機」
日々の雑用に使われているから、ゆっくりものを考えたり、したいことをしたりができないんだと思っていたのですが、コロナの最中でも同じでした。一見わかりにくいけど少しずつ変わっているもの、に後から気づく、家の中は少し片付きました。

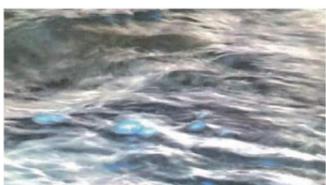
宝塚市立文化芸術センター

●最寄り駅/阪急宝塚駅より徒歩約13分
阪急宝塚南口駅より徒歩約7分

おおやね広場 ④



モリン見 MORINJI
支持体を使って平面をカラーージュしていきます。私の作品には、ファンタジーは重要な要素です。現実から少し離れた空間で想像の世界が膨らむモノを表現したいです。



滑川 みさ NAMEKAWA Misa
「Timeless」(ビデオ)
今年コロナ禍により様々な課題や問題が浮き彫りにされた。この出来事が私たちに突き付けている根源的な問いは生きることの質そのものではないだろうか？私は泡を命のメタファーとしてこの作品を作った。

メインガーデン ⑦



間中 ムーチョ MANAKA Mucho
ポーロニャ国際絵本原画展入選作「にんげんさまへ」の世界観を野外絵本にして、庭園にコソソリ隠すように展示をします？みなさん、探しに来て下さい。



森脇 正奈 MORIWAKI Mana
「訓練」
武術家のタマゴ達の訓練。その光景はまるで花が咲き誇っているよう…。アーチを使ってのインスタレーション作品です。ぜひ通り抜けてご覧ください。

屋上庭園 ⑤



友井 隆之 TOMOI Takayuki
「1ton彫刻」
一つの彫刻が1kg、鉄でできた1kgの1個の単位、1000点を展示する。これは2018年に展示予定だった堀尾貞治氏との共作であり未完の遺作。今回、堀尾氏へのオマージュとして引き続き制作を継続・完成させて再展示する。

みんなの広場 ⑥



窪田 順 KUBOTA Jun
「みんなのスイカ」
みんなの広場の構図人工芝エリアに、みんなのスイカを作ろうと思います。みんなに夏の思い出スイカを目で味わってもらって楽しんでほしいです。



谷中 亜紀 YANAKA Aki
「線から生まれる」
目の前の空間にドローイングしていくイメージで、まだカタチにならない落書きの様な線から空中に植物の形をスケッチしていく感覚で形を作ります。気持ちの良い庭園の中にゆらめく作品を置いていこうと思います。



春成 こみち HARUNARI Komichi
コロナウイルスの影響で密になれない私たちが、アートの世界では楽しく戯れることができます。うれしいことがあればそちらに流れていく、そんな集団を作りました。あなたに似た人が見つかるかもしれません。

ショーウィンドウ3階 ②



「Blessing Scenery」 breathe」

柴田 知佳子 SHIBATA Chikako
「Blessing Scenery」
初の試みとして4部作に取り組みました。構図としてはゆるやかなつながりを保ちながらも、一点一点は独立した絵画でもあります。作品のタイトルはそれぞれ、breathe息づく、feel感じる、fascinate魅惑する、suffice満ち足りる、という意味です。

11/1 (日) 宝塚あきぞらげきじょう <関連イベント> 主催:宝塚市文化財団

場所:花のみち・さくら橋公園

子供連とのワークショップ 11:00~12:00

「土になる」間中 ムーチョ

★落ちて葉っぱを使って、地面に顔を描く

「羅漢(らかん)さんをつくろう」

荒木田 義人

★ダンボールを使って羅漢(らかん)さんをつくります

てんてんパフォーマンス大会 15:00~17:00

<参加アーティスト>

松原 三郎 春成 こみち 種中和義 山下 克彦

ワダ コウゾウ 樋口 尚 笹谷 太郎 奥村 誠

間中 ムーチョ 大西 昇子

他、飛び入り参加あり

※内容等変更になる場合がございます。

宝塚文化創造館 ⑨

●最寄り駅/阪急宝塚駅より徒歩約15分
●11月3日(火)まで (最終日は15:00まで)

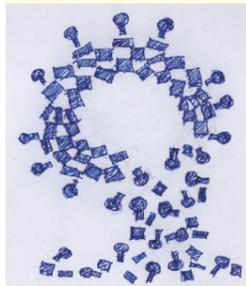


荒木田 義人 ARAKIDAI Yoshihito
「てんてんに挑戦！」

十雲雀丘学園中高校 探究ゼミ有志
「板羅漢、椅子に座る」
ダンボールで作った羅漢さんをソーシャルディスタンスを空けて椅子に座ってもらいます。その表情を。



池田 丈一 IKEDA Joichi
「ふれあいの記号2018-まわす」
Signs of Rapport2018-まわす
ひらがなの「ま」「わ」「す」を使った作品で、日本の国旗だったり、銀河系の様な展示だったり、多様な見方が可能です。しかし、あくまで、三方に乗った回らない「こま」の造形ですから、まわさないで鑑賞して下さい。



白石 卓也 SHIRAIISHI Takuya

「真摯に反省」
世界は弱肉強食。人類の平和の方向は強者の論理で進められている。スポーツの祭典もカネの力。ワイロで始り商業ベース、いよいよカネの亡者の綱引合戦。その時コロナが世界を駆け巡る。カネの亡者も貧者も慌てふためく。

アート×子ども
宝塚第一小学校「一こっ子遊ぼう会」作品
アートでつながろう！

トーク「アート力と地域力」



ゲスト **藤 浩志** 聴き手 **坂上 義太郎**
美術家 秋田公立美術大学教授
BBプラザ美術館顧問 元伊丹市立美術館館長

場 所 宝塚文化創造館
参加費 無料 (事前申込み不要)

宝塚市立文化芸術センター サブギャラリー ⑧ ●11月3日(火)まで

Izumi Ueda Yuu

イズミユウ
「コロナの時代のシャツ」
アートと日常生活をつなげていく行為として、おなじみの形をしたシャツや靴を描いています。2020年3月、作品制作中に感染症が瞬く間に世界に蔓延し私の制作もその影響を受けました。世界中で感染症と戦っている全ての人にこの作品を捧げます。



Paul Kohl ポールコール
「A Muse in Winter (Amusing)」
"A morning's walk through a winter landscape in Germany, cold but beautiful!"



桑垣 和弘 KUWAGAKI Kazuhiro
「葛藤の支点」
KATTUTOU NO SHITEN
意図的に置いた色と線から、その時の感情からなる、未知の制作展開に繋がる瞬間に...幸せを感じます。自分なのに、"自分でない自分の部分"が見たくて続いています。



奥村 誠 OKUMURA Makoto
「水のかたち」
以前は立体作品を作っていましたが、最近では川の流れや風によるさざなみ等、水面のゆらぎをテーマに平面作品を作っています。



雅 あかまろう MIYABI Akamarou
「動」
古木のエネルギーや神秘さを、表すにはどうすればいいのだろうか。原始の森の中にいる、見えない聞こえない大量の「何か」が、複雑に関連しあい、我々の身体感覚を活性化させ、「生」の力を増幅させてくれるかもしれない。



向井 孟 MUKAI Takeshi
「自然(ジャン)に(カラーハウス)」
立体(五色のハウス)紙、アクリル絵具



モトダシズコ MOTODA Shizuko
「マチス」を遊ぶをテーマに模写版画を中心にどう転回するか楽しみです。



品川 太地 SHINAGAWA Daichi
「CHYNA & COLONA」
今年は人類が深く地球や世界を考える状況にあり災害多発国日本も国民が見直す切っ掛けを与えられた年でもある。一帯一路作戦で日本国はロックオン!!同調傾向日本人の知性と感性に響いてほしいと願うばかりです。



てんてん 特別企画
ドイツ、イギリス、ポーランドなど...
海外のアーティスト作品約20点を展示します。
協力/A-21国際美術展

※作品写真はイメージです。実際の展示作品を紹介するものではありません。